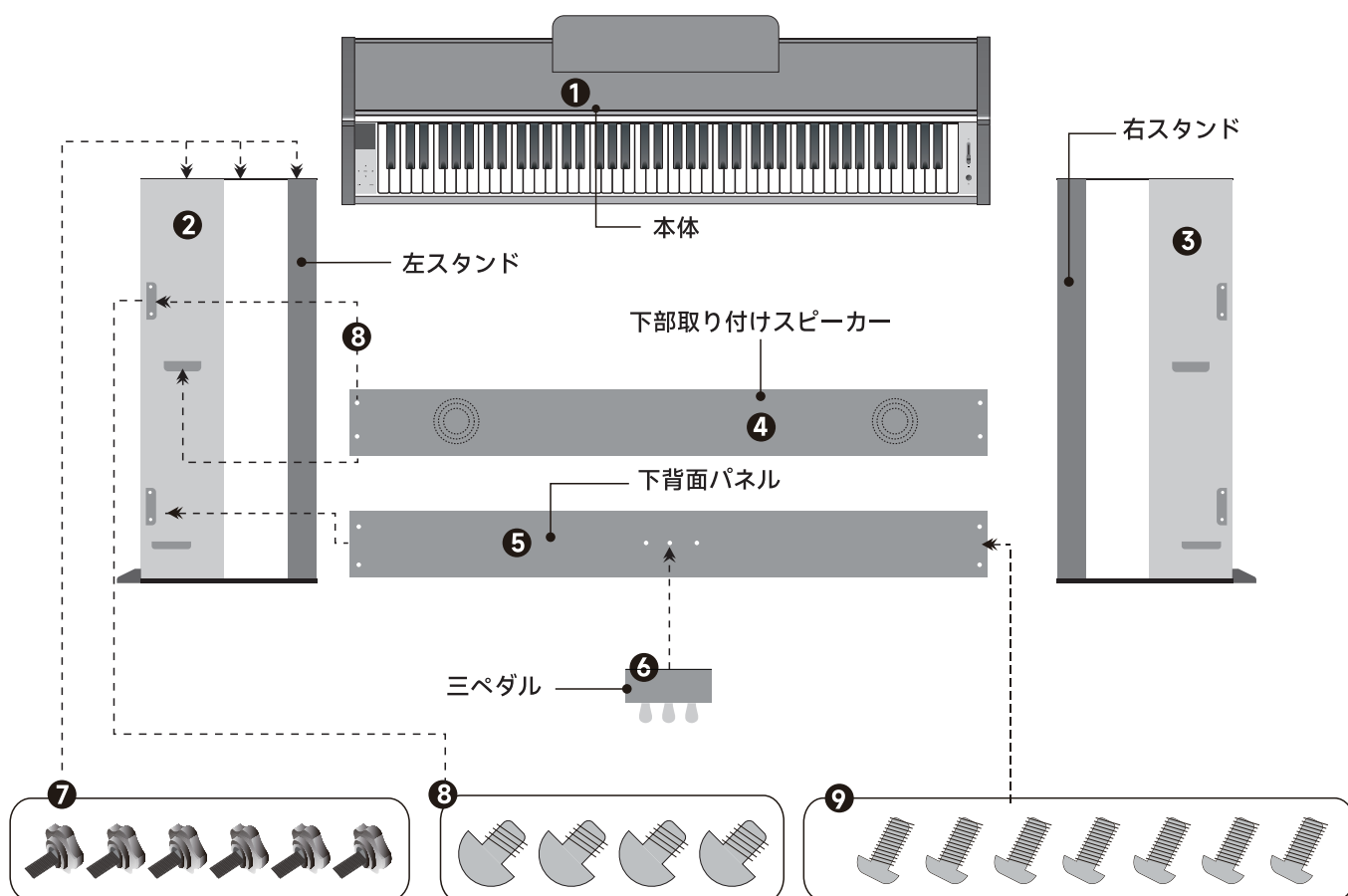


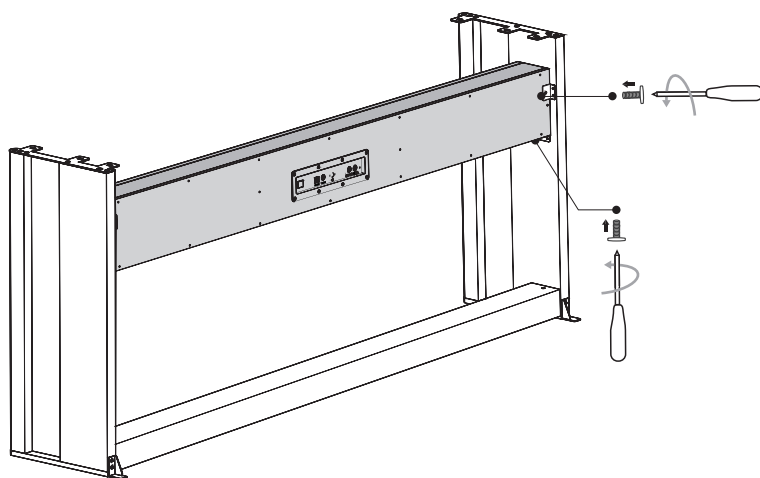
電子ピアノの組み立て

インストール手順

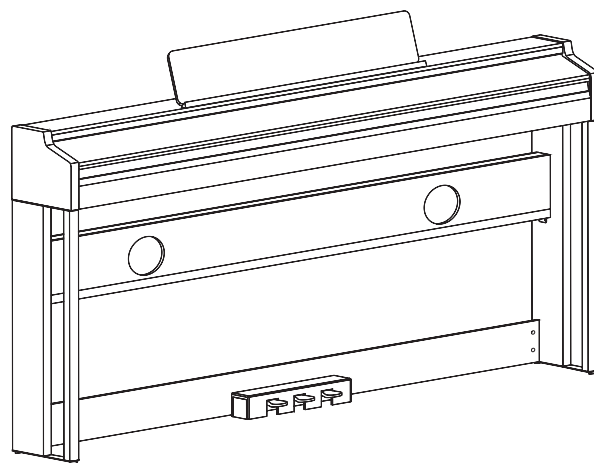


- | | |
|---------------|----------------|
| ① 本体 | ⑥ 三ペダル |
| ② 左スタンド | ⑦ 梅形ハンドルネジ: 6個 |
| ③ 右スタンド | ⑧ M5ネジ: 4個 |
| ④ 下部取り付けスピーカー | ⑨ 大ネジ: 7個 |
| ⑤ 下背面パネル | |

スピーカー取り付け



完成品図



注意事項

● ご使用の前に、この取扱説明書に記載されている注意事項をよくお読みください。

また、お読みになった後もいつでもご覧になれるところに保管してください。

警告

ご使用中は常に次の注意事項を守ってください。守らないと、感電、ショート、事故、火災、またはその他の危険を招く恐れがあります。注意事項は次のとおりですが、これらに限定されるものではありません。

- この製品にはユーザーが修理できる部品がないため、電子ピアノを開けたり、部品を分解したり、内部を改造したりしないでください(電子ピアノには、チューニング不要な音色安定化システムが組み込まれています)。ご使用中に機能上の異常が発生した場合は、資格のある技術者に修理を依頼してください。
- 雨にさらしたり、水や湿気の多い場所の近くで使用したりしないでください。本体の上に水の入った容器を置かないでください。内部に湿気が入ってしまう原因になります。
- 電源コードやプラグが擦り切れたり破損したり、使用中に突然停電したり、本体から異臭や煙が出たりした場合は、すぐに電源を切り、プラグを抜き、資格のある技術者に修理を依頼してください。
- 電源電圧が220V AC $\pm$ 10%であることを確認してください。電圧が高すぎたり低すぎたりすると、電子ピアノの損傷原因になります。
- 清掃する前に、電源を切り、プラグを抜いてください。濡れた手で操作を行わないでください。腐食性の溶剤で電子ピアノを拭いたり掃除したりしないでください。
- 定期的に電源スイッチと電源コードを点検してください。ヒューズを交換する場合は、必ず電源コードを抜いて、元のヒューズと同じ仕様のヒューズを使用してください。

注意

利用者や周りの人への怪我、およびこの電子ピアノや他の外部機器への損傷を防ぐため、ご使用中は常に以下の指示を守ってください。内容は以下のとおりですが、これらに限定されるものではありません。

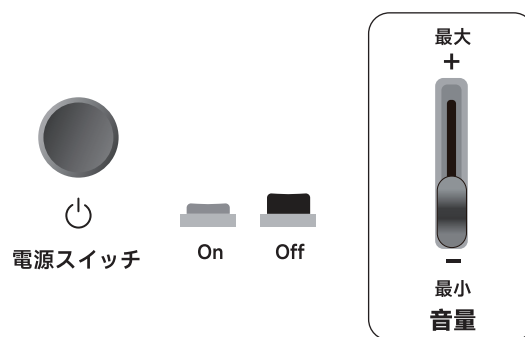
- 電源コードをヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。損傷を防ぐため、電源コードを過度に曲げたり、重いものを上に載せたり、人の出入りが多い場所に置いたり、他のものを巻き付けたりしないでください。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを握り、コードを引っ張らないでください。
- 長時間使用しないときや雷雨のときは、電源コードを抜いてください。
- 外部および内部部品の損傷を防ぐため、この製品をほこりの多い場所、振動のある場所、低温または高温の場所(直射日光の当たる場所、ヒーターの近く、日光の当たる車内など)に置かないでください。
- 電子ピアノを移動する前に、電源コードを抜き、他の機器に接続されているケーブルをすべて取り外してください。
- 電子ピアノを掃除するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、有機溶剤、クリーナー、その他の腐食性の化学物質を使用しないでください。表面やキーボードの変色原因になります。
- 他の機器に接続される場合は、すべての電源スイッチをオフにしてください。電源スイッチをオフにする前に、音量を最小に設定してください。使用を開始するときは、電子ピアノの音量を最小にしてから徐々に適切な音量に上げてください。
- 相互干渉を避けるため、電子ピアノをテレビ、ラジオ、スピーカーなどの他の電気製品の近くに置かないでください。
- 電子ピアノが落ちて損傷するのを防ぐため、不安定な場所に置かないでください。
- 電子ピアノの上に重いものを置いたり、鍵盤やコントロールスイッチに過度の力を加えたりしないでください。
- この電子ピアノは、教室やリサイタルホールなどでの使用に十分な音量の冗長性を備えております。通常の使用では、音量を適切なレベルに調整する必要があります。大きすぎる音量で長時間使用すると、音楽的に不適切であるだけでなく、聴覚障害を引き起こす可能性があります。
- 電子ピアノに強い衝撃を与えないでください。衝突によりピアノが損傷したり、人が負傷する可能性があります。

ご使用の前に

このセクションでは、電子ピアノの各端子と演奏を始める前の準備について説明いたします。電子ピアノの電源スイッチをオンにする前に、必ず以下の内容をよくお読みください。

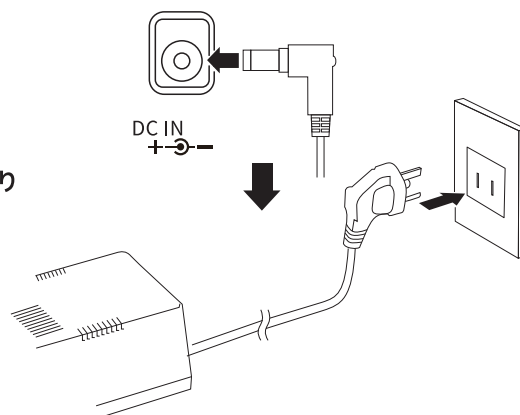
● 電源接続

1. まず、電子ピアノの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。オフになっていない場合は、電源スイッチをオフにしてください。
2. 電源コードを電子ピアノの背面にあるDC端子に差し込んで接続し、電源アダプターのもう一方を電源コンセントに差し込みます。
3. 電源をオンにする前に、すべての音量コントロールを最小にします。
4. 電子ピアノの電源をオフにするときは、まずすべての音量コントロールを最小に設定してから、電源スイッチをオフにしてください。

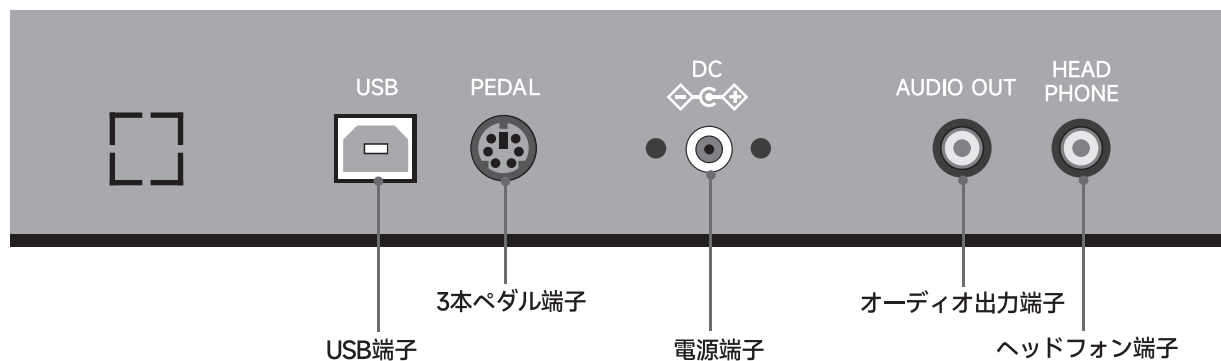


警告

- 使用しないときや雷雨のときは、電源コードを抜いてください。
- 電源電圧が220V AC $\pm$ 10%であることを確認してください。電圧が高すぎたり低すぎたりすると、電子ピアノの損傷原因になります。
- 電源が入っているときに電源コードをコンセントから抜かないでください。



バックパネルの端子



3本ペダル端子

● 3本ペダル

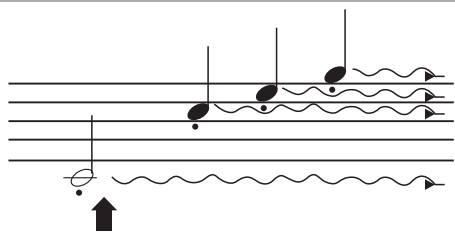
従来のグランドピアノに基づいて設計されております。伝統的なグランドピアノと同じサスティンペダル、ソステヌートペダル、ソフトペダルを備えています。ペダルを踏むとエフェクトがオンになり、ペダルを放すとエフェクトがオフになります。

ペダル接続コードをピアノ本体の下部にあるペダル端子に接続してください。

● サスティンペダル

(右) サスティンペダルを踏むと音を伸ばし、ペダルを放すとすぐにサスティンエフェクトがオフになります。

サスティンペダル参照図

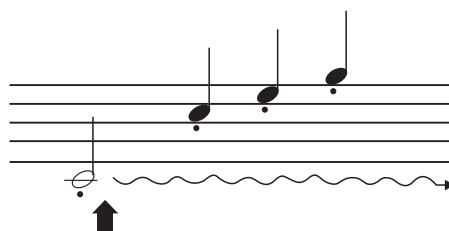


ここでサスティンペダルを踏むと、この音及びペダルを放す前に演奏された音を伸ばします。

● ソステヌートペダル

(中央) 鍵盤を押したままにしてこのペダルを踏むと、押された音は伸びますが (サスティンペダルを踏むのと同様)、その後に演奏される音は伸びません。これにより、他の音をスタッカートで演奏しながら、コードまたは単独の低音を伸ばすことができます。ここでソステヌートペダルを踏むと、この音及びペダルを放す前に演奏された音はより長く伸ばします。

ソステヌートペダル参照図



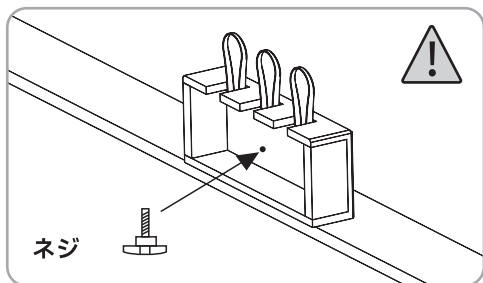
鍵盤を押したままにしてソステヌートペダルを踏むと、ペダルを放すまで音を伸ばすことができます。

● ソフトペダル

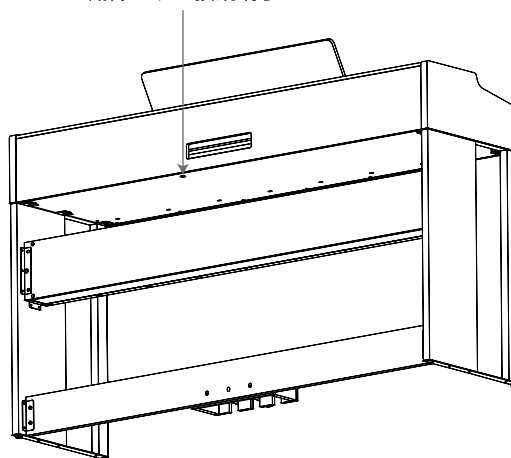
(左) ソフトペダルを踏むと、演奏される音の音量を下げ、音色も変わります。このペダルを踏む前に演奏された音は影響を受けません。



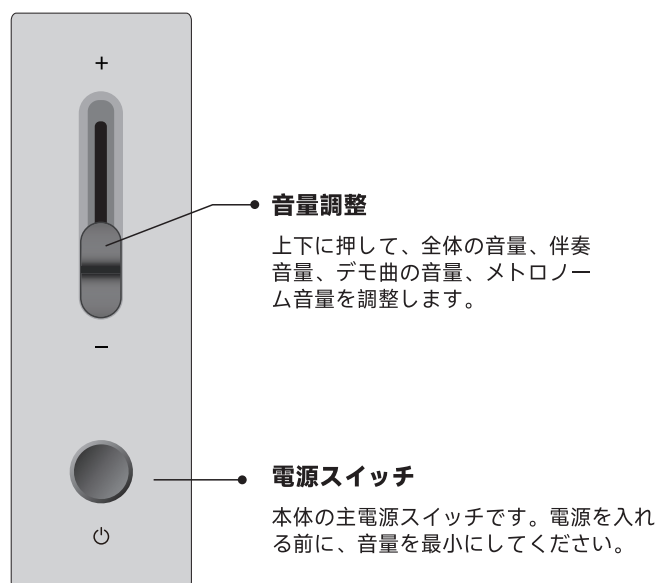
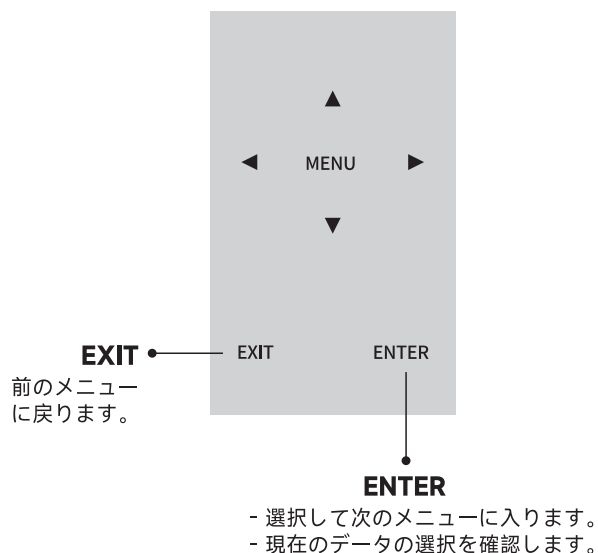
ペダルを踏む前に、ペダルサポートネジを取り付け、ご使用前にしっかりと地面に設置されていることを確認してください。



底部ペダル接続端子



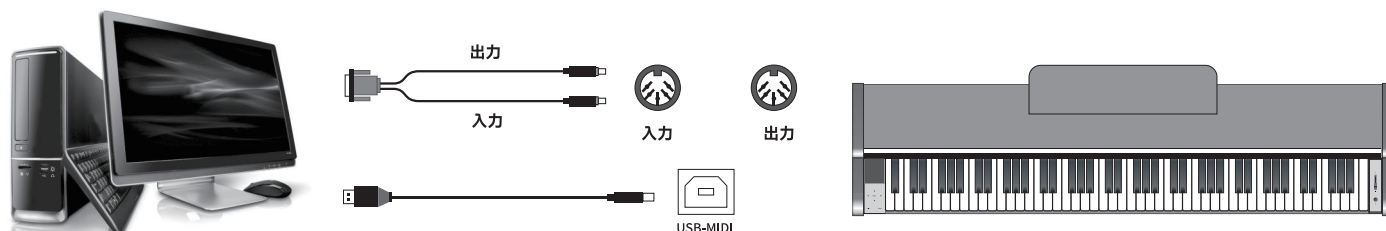
コントロールパネル



MIDI

- MIDIはMusical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器の演奏データを機器間で転送・共有するための共通規格です。
- MIDIを使用すると、異なるメーカーの楽器とコンピューター（デバイス）間で音楽データを転送し、アレンジ、作曲、コンピューター録音などの操作が可能になります。
- 本体の背面にはUSB端子、標準のMIDI入力と出力端子があります。コンピューターやその他のデバイスに接続する前に、電子ピアノの電源をオフにしてください。

注意 Windows 2000/XPの場合は、あらかじめUSB MIDIドライバーをインストールする必要があります。



使い方

● MENU

- メニュー画面に入る。
- ホーム画面で、現在選択されている機能の単一の調整を実行します。長押しすると、すばやく調整することができます。
- ホーム画面で現在のオプションを調整することができます。
- メニュー画面で、現在選択されている機能の単一の調整を実行することができます。

● 音色

- 音色選択モードでない場合は、「MENU」ボタンを押して、「▲/▼」ボタンを使用してVoice選択項目に切り替えます。「ENTER」ボタンを押してVoiceメニューに入ります。
- 「▲/▼」ボタンで調整して「ENTER」ボタンを押して選択を確定します。
- デフォルトの選択は、メイン鍵盤の音色です。
- スプリット鍵盤機能がオンになった場合、左鍵盤の音色を選択します。
- デュアル音色機能がオンになった場合、2層目の音色を選択します。

● リズム

- 現在リズムが選択されていない状態で、「MENU」ボタンを押し、「▲/▼」ボタンでStyle選択項目に切り替えます。「ENTER」ボタンでStyleメニューに入り、「▲/▼」を切り替えてリズム選択に入り、「ENTER」を押して再生の開始/停止を選択します。Listオプションでリズムの種類を選択し、Controllerオプションでリズムを制御することができます。
- 「MENU」ボタンでListメニューに入り、「▲/▼」ボタンで調整し、「ENTER」ボタンを押して確定します。
- 「ENTER」ボタンでControllerメニューに入ります（メニュー機能ボタンが対応する機能ボタンに変わり、「ENTER」ボタンを押して終了します）。
- 「MENU」ボタンが「▶/■」ボタンに変わり、リズムを開始/停止します。
- 「▲/▼/◀」ボタンが「A B Intro End」に変わり、3つのグループパッセージ制御ボタンになります。
- リズムが停止しているときに、「Intro End」ボタンを交互に押してイントロを挿入/削除します。リズムが再生されているときに、このボタンを押してコードを挿入します。リズムが停止しているときに、A/Bを押してメインパッセージAまたはBを選択します。リズムが再生されているときに、このボタンを短く押してフィルインを挿入してから選択したメインパッセージに戻ります。
- 「▶」ボタンはSyncボタンに変わり、同期開始機能をオンまたはオフにすることができます。同期開始機能がオンになった場合は、任意の鍵盤を押すと、有効なコードを形成し、リズムを同期して開始します。
- 「ENTER」ボタンはChordボタンに代わり、自動コード機能をオン/オフにすることができ、シングルフィンガーコードとマルチフィンガーコードの両方を認識することができます。

● デモ曲

- デモ曲選択モードになっていないときは、「MENU」ボタンを押し、「▲/▼」ボタンでDemo選択項目に切り替えます。「ENTER」ボタンを押してDemoメニューに入ります。
- 「▲/▼」ボタンで調整し、「ENTER」ボタンを押してデモ曲の再生を開始/停止します。
- 「MENU」→Function→Demo Vol:「◀/▶」ボタンを使用してデモ曲の音量を調整します。
- 「MENU」→Function→Lesson:「◀/▶」ボタンを使用してOFF、Right Hand、Left Hand、Right-Left Handを選択し、「ENTER」ボタンを押して選択を確定します。

● メトロノーム

- 「MENU」ボタン → Metro: 「▲/▼」ボタンでビートの種類を選択し、「ENTER」ボタンで確定します。
- 「伴奏音量」ノブでメトロノームの音量を調整します。

● テンポ

- 「MENU」ボタン→Tempo:テンポ調整に入ります。
- リズム、メトロノーム、曲、録音のテンポを調整します。
- 「◀/▶」ボタンを使用して調整します。
- 一部のデモ曲では速度が自動的に変更されます。この方法でテンポを調整すると、曲の自動更新によって上書きされる場合があります。

● トランスポーズ

- 「MENU」ボタン→Transpose: 「▲/▼」ボタンでトランスポーズタイプを選択し、「ENTER」ボタンで確定します。

● 保存

- 「MENU」ボタン→Memory→Save: 「▲/▼」ボタンで保存場所（Preset 1~6）を選択し、「ENTER」ボタンを使用して、選択した保存場所に現在のすべてのユーザー設定を保存します。
- 「MENU」ボタン→Memory→Load: 「▲/▼」ボタンで呼び出し位置（Preset 1~6）を選択し、「ENTER」ボタンを使用して、選択した保存場所からユーザー設定を呼び出します。

● 録音

- 「MENU」ボタン→Record: 録音画面に入ります（メニュー機能ボタンが対応する機能ボタンに変わり、「EXIT」ボタンを押して終了します）。
- 「▲/▼」ボタンは、現在の録音位置（User song1~5）を調整することができます。
- 「◀」ボタンが「●」ボタンに変わります。このボタンを押すと録音準備状態になります。ピアノの任意の鍵盤を押して録音を開始すると、「●」が「ⓘ」に変わります。
- コードが有効になっている場合、録音にはリズムとメロディーの両方が含まれます。そうでない場合は、メロディーのみが録音されます。
- 「ⓘ」ボタンをもう一度押すと録音が終了し、「ⓘ」が「●」に変わります。
- 「録音」ボタンをもう一度押すと録音が終了します。
- 「▶」ボタンが「▶」ボタンに変わります。このボタンを押すと、現在の録音を再生/停止します。

● ワイヤレス接続:

- オーディオワイヤレス接続: 携帯電話のワイヤレス機能をオンにし、対応する名前「ピアノ-AUDIO XXXX」とペアリングすると、デジタルピアノで音楽を再生することができます。
- MIDIワイヤレス: 携帯電話の音楽アプリケーションをオンにし、対応する名前のワイヤレス機能を接続すると、デジタルピアノで曲を練習することができます。

● その他の機能

【MENU】→Function: 「▲/▼」で機能調整を選択し、「ENTER」で確定します。

- 【Touch】: タッチ感度タイプを選択します。
- 【Reverb】: リバーブタイプを選択します。
- 【Chorus】: コーラスタイプを選択します。
- 【Harmony】: ハーモニータイプを選択します。
- 【Lesson】: 練習タイプを選択し、デモ曲のフォローアップ練習に適します。

【MENU】→Function: 「▲/▼」で機能調整を選択し、「◀/▶」で現在の機能のパラメータを調整します。

- 【Reverb Vol】: リバーブの深さを調整します。
- 【Chorus Vol】: コーラスの深さを調整します。
- 【Rhythm Vol】: リズムの音量を調整します。
- 【Demo Vol】: デモ曲の音量を調整します。
- 【Dual Vol】: デュアル音色の2層目の音量を調整します。
- 【Left Vol】: スプリット鍵盤の左側の鍵盤の音量を調整します。
- 【Dual】: デュアル音色スイッチ。
- 【Split】: スプリット鍵盤スイッチ。
- 【Left Octave】: 左側の鍵盤のオクターブシフトを調整します。
- 【Left Point】: 鍵盤の分割ポイントを調整します。
- 【Chord Point】: コードの分割ポイントを調整します。
- 【Octave】: 鍵盤のオクターブシフトを調整します。
- 【Tune】: ピッチを微調整します。
- 【EQ】: イコライゼーションタイプを調整します。

Demo Songs | Demonstration | Demonstration | Canzone demo | Demostración | デモ曲

No.	Name
01	Chopin Fantasiae Impromptu
02	Chopin Nocturne
03	Chopin Petit Chien
04	Chopin Chanson De l' Adieu
05	Beethoven Patheic Sonata
06	Beethoven For Elise
07	Beethoven Mondschein Sonate
08	Beethoven Ecossaise
09	Beethoven Marcia Alla Turca
10	Beethoven Sonatine
11	Mozart Turkish March
12	Mozart Sonate
13	Bach Waltz In A Mino
14	Bach Menuett
15	Schubert Three Military Marches
16	Schubert Moments Musicaux
17	Schumann Traumerei
18	Schumann Frohlicher Landmann
19	Richard Souvenirs D'Enfance
20	Richard Ballade Pour Adeline
21	Mendelssohn Frühlingslied
22	Haydn Little Serenade
23	Pachelbel Canon In D
24	Badarzewska Maiden's Prayer
25	Liszt Liebestrume
26	Tchaikovsky Barcarolle
27	Oesten Dolly's Dreaming Awakening
28	Dvorak Humoresque
29	Joplin The Entertainer
30	Debussy La Fille aux Cheveux de Lin
001	Czerny 599 No.001
002	Czerny 599 No.002
003	Czerny 599 No.003

No.	Name
004	Czerny 599 No.004
005	Czerny 599 No.005
006	Czerny 599 No.006
007	Czerny 599 No.007
008	Czerny 599 No.008
009	Czerny 599 No.009
010	Czerny 599 No.010
011	Czerny 599 No.011
012	Czerny 599 No.012
013	Czerny 599 No.013
014	Czerny 599 No.014
015	Czerny 599 No.015
016	Czerny 599 No.016
017	Czerny 599 No.017
018	Czerny 599 No.018
019	Czerny 599 No.019
020	Czerny 599 No.020
021	Czerny 599 No.021
022	Czerny 599 No.022
023	Czerny 599 No.023
024	Czerny 599 No.024
025	Czerny 599 No.025
026	Czerny 599 No.026
027	Czerny 599 No.027
028	Czerny 599 No.028
029	Czerny 599 No.029
030	Czerny 599 No.030
031	Czerny 599 No.031
032	Czerny 599 No.032
033	Czerny 599 No.033
034	Czerny 599 No.034
035	Czerny 599 No.035
036	Czerny 599 No.036

No.	Name
037	Czerny 599 No.037
038	Czerny 599 No.038
039	Czerny 599 No.039
040	Czerny 599 No.040
041	Czerny 599 No.041
042	Czerny 599 No.042
043	Czerny 599 No.043
044	Czerny 599 No.044
045	Czerny 599 No.045
046	Czerny 599 No.046
047	Czerny 599 No.047
048	Czerny 599 No.048
049	Czerny 599 No.049
050	Czerny 599 No.050
051	Czerny 599 No.051
052	Czerny 599 No.052
053	Czerny 599 No.053
054	Czerny 599 No.054
055	Czerny 599 No.055
056	Czerny 599 No.056
057	Czerny 599 No.057
058	Czerny 599 No.058
059	Czerny 599 No.059
060	Czerny 599 No.060
061	Czerny 599 No.061
062	Czerny 599 No.062
063	Czerny 599 No.063
064	Czerny 599 No.064
065	Czerny 599 No.065
066	Czerny 599 No.066
067	Czerny 599 No.067
068	Czerny 599 No.068
069	Czerny 599 No.069

No.	Name
070	Czerny 599 No.070
071	Czerny 599 No.071
072	Czerny 599 No.072
073	Czerny 599 No.073
074	Czerny 599 No.074
075	Czerny 599 No.075
076	Czerny 599 No.076
077	Czerny 599 No.077
078	Czerny 599 No.078
079	Czerny 599 No.079
080	Czerny 599 No.080
081	Czerny 599 No.081
082	Czerny 599 No.082
083	Czerny 599 No.083
084	Czerny 599 No.084
085	Czerny 599 No.085
086	Czerny 599 No.086
087	Czerny 599 No.087
088	Czerny 599 No.088
089	Czerny 599 No.089
090	Czerny 599 No.090
091	Czerny 599 No.091
092	Czerny 599 No.092
093	Czerny 599 No.093
094	Czerny 599 No.094
095	Czerny 599 No.095
096	Czerny 599 No.096
097	Czerny 599 No.097
098	Czerny 599 No.098
099	Czerny 599 No.099
100	Czerny 599 No.100

Rhythm | Rythmes | Rhythm | Ritmo | Ritmos | リズムテーブル

No.	Name
8Beat	
001	8Beat 1
002	8Beat 2
003	8Beat 3
004	8Beat 4
005	8Beat 5
006	8Beat 6
16Beat	
007	16Beat 1
008	16Beat 2
009	16Beat 3
010	16Beat 4
011	16Beat 5
012	16Beat 6
Pop	
013	Pop 1
014	Pop 2
015	Pop 3
016	Pop 4
017	Pop Waltz
018	Motown
019	British Pop 1
020	Guitar Pop
021	Slow Pop

No.	Name
022	50's Pop
023	80's Pop
Rock	
024	Rock 1
025	Rock 2
026	50's Rock
027	60's Rock
028	70's Rock
029	80's Rock
030	Big Rock
031	Power Rock
032	Dark Rock
033	Jazz Rock
034	Soft Rock
035	Pop Rock
036	Funky Rock
037	Ballad Rock
038	Folk Rock
039	Slow Rock
040	Rock&Roll
041	Shuffle
042	Boogie
043	Twis

No.	Name
Ballad	
044	Ballad 1
045	Ballad 2
046	Soul Ballad
047	6/8 Ballad
048	Acoustic Ballad
049	Colour Ballad
050	Guitar Ballad
051	Piano Ballad
052	Organ Ballad
Groove	
053	Groove 1
054	Groove 2
055	Groove 3
056	Groove 4
057	Groove 5
058	Groove 6
Piano	
059	Piano 1
060	Piano 2
061	Piano 3
062	Piano 4
063	Piano 5
064	Piano 6

No.	Name
Unplugged	
065	Unplugged 1
066	Unplugged 2
067	Unplugged 3
068	Unplugged 4
069	Unplugged 5
070	Unplugged 6
Dance	
071	Dance
072	Disco
073	House
074	Euro Beat
075	Funky Dance
076	80's Dance
077	Techno
078	Fusion
R&B	
079	Blues
080	Funky
081	Gospel
082	Rap
083	Soul
Country	
084	Country 1

No.	Name
085	Country 2
086	Country 3
087	Country 4
Jazz	
088	Jazz
089	Jazz Waltz
090	Jazz Ballad
091	Jive
092	Ragtime
093	Big Band
Swing	
094	Swing
Caribbean	
095	Caribbean
096	Reggae
Latin	
097	Cha Cha
098	Rumba
099	Samba
100	BossaNova
101	Mambo
102	Salsa
103	Beguine
104	Cumbia

No.	Name
105	Latin
World	
106	Baroque
107	Bolero
108	Holly Wood
Ballroom	
109	Foxtrot
110	Paso Doble
111	Quick Step
112	Bachata
113	Boston
114	Tango
Waltz	
115	Waltz
Traditional	
116	March
117	Polka
Classical	
118	Classical
Chinese	
119	China Folk
120	China Ballad

Voice

Timbres

Tontabelle

Tono

Timbres

トーンテーブル

No.	Name
001	Acoustic Grand Piano
002	Bright Acoustic Piano
003	Electric Grand Piano
004	Honky Tonk Piano
005	Electric Piano 1
006	Electric Piano 2
007	Harpsichord
008	Clavi
Mallet	
009	Celesta
010	Glockenspiel
011	Music Box
012	Vibraphone
013	Marimba
014	Xylophone
015	Tubular Bells
016	Dulcimer
Organ	
017	Drawbar Organ
018	Percussive Organ
019	Rock Organ
020	Church Organ
021	Reed Organ
022	Accordion
023	Harmonica
024	Tango Accordion
Guitar	
025	Acoustic Nylon Guitar
026	Acoustic Steel Guitar
027	Electric Jazz Guitar
028	Electric Clean Guitar
029	Electric Muted Guitar
030	Overdriven Guitar
031	Distortion Guitar
032	Guitar Harmonics
Bass	
033	Acoustic Bass
034	Electric Fingered Bass
035	Electric Picked Bass
036	Fretless Bass

No.	Name
037	Slap Bass 1
038	Slap Bass 2
039	Synth Bass 1
040	Synth Bass 2
Strings	
041	Violin
042	Viola
043	Cello
044	Contrabass
045	Tremolo Strings
046	Pizzicato Strings
047	Orchestral harp
048	Timpani
Ensemble	
049	String Ensemble 1
050	String Ensemble 2
051	Synth Strings 1
052	Synth Strings 2
053	Choir Aahs
054	Voice Oohs
055	Synth Voice
056	Orchestral
Brass	
057	Trumpet
058	Trombone
059	Tuba
060	Muted Trumpet
061	French Horn 1
062	Brass Section 1
063	Synth Brass 1
064	Synth Brass 2
Reed	
065	Soprano Sax
066	Alto Sax
067	Tenor Sax
068	Baritone Sax
069	Oboe
070	English Horns
071	Bassoon
072	Clarinet

No.	Name
Pipe	
073	Piccolo
074	Flute
075	Recorder
076	Pan Flute
077	Bottle Blow
078	Shakuhachi
079	Whistle
080	Ocarina
Lead	
081	Lead–Square Wave
082	Lead–Sawtooth Wave
083	Lead–Calliope
084	Lead–Chiff
085	Lead–Charang
086	Lead–Voice
087	Lead–Fifths
088	Lead–Bass
Pad	
089	Pad–New Age
090	Pad–Warm
091	Pad–Polysynth
092	Pad–Choir
093	Pad–Bowed
094	Pad–Metallic
095	Pad–Halo
096	Pad–Sweep
Effects	
097	FX–Rain
098	FX–Soundtrack
099	FX–Crystal
100	FX–Atmosphere
101	FX–Brightness
102	FX–Goblins
103	FX–Echoes
104	FX–Sci–Fi
Ethnic	
105	Sitar
106	Banjo
107	Shamisen

No.	Name
108	Koto
109	Kalimba 1
110	Bagpipes
111	Fiddle
112	Shanai
Percussive	
113	Tinkle Bell
114	Agogo
115	Steel Drums
116	Wood Block
117	Taiko Drum
118	Melodic Drum
119	Synth Drum
120	Reverse Cymba
Sound Effects	
121	Guitar Fret Noise
122	Breath Noise
123	Seashore
124	Bird Tweet
125	Telephone Ring
126	Helicopter
127	Applause
128	Gun Shot
Drum	
129	Standard Kit
130	Chinese Kit
131	Room Kit
132	Power Kit
133	Electronic Kit
134	T808 Kit
135	Jazz Kit
136	Brush Kit
137	Orchestra Kit
138	SFX Kit



Digital Piano
Model: DDP-200PRO **Input:** 18V DC 2A **FCC ID:** 2AV7NDDP-200 **IC:**28214-DDP200
Website: www.donnermusic.com
E-mail: service@donnermusic.com
Manufacturer: GUANGZHOU RANTION TECHNOLOGY CO., LTD.
Address: Room 7002 and 7003, 7th Floor, Digital Entertainment Industrial Park, Greater Bay Area, No.28 Huangpu Park West Road, Huangpu District, Guangzhou, China.
Made in China
Copyright © 2024 Donner LLC. All rights reserved.

<table border="1"><tr><td>UK</td><td>REP</td></tr></table>	UK	REP	Information for UK representatives Name: GOAL REACH CONSULTING LTD E-mail: goalservice@hotmail.com Add.: Office 1029 3 Hardman Street 10th Floor, Spinningfields Manchester,UK M3 3hf
UK	REP		
<table border="1"><tr><td>EU</td><td>REP</td></tr></table>	EU	REP	Information for EU representatives Name: SUCCESS COURIER SL E-mail: successservice2@hotmail.com Add.: Calle Rio Tormes Num.1, planta 1, Derecha, Oficina 3, Fuenlabrada, madrid, 28947 Spain
EU	REP		



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality , disposal service , or shop where you bought this product.



Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the users authority to operate the equipment .

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Any changes or modifications to this device not explicitly approved by manufacturer could void your authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

IC Warning !

This device complies with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and

(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

This device meets the exemption from the routine evaluation limits in section 2.5 of RSS 102 and compliance with RSS 102 RF exposure, users can obtain Canadian information on RF exposure and compliance.

This equipment complies with Canada radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.

This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

(1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et

(2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Cet appareil est conforme à l'exemption des limites d'évaluation courante dans la section 2.5 du cnr - 102 et conformité avec rss 102 de l'exposition aux rf, les utilisateurs peuvent obtenir des données canadiennes sur l'exposition aux champs rf et la conformité.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements du Canada établies pour un environnement non contrôlé.

Cet équipement doit être installé et utilisé à une distance minimale de 20 cm entre le radiateur et votre corps.